

ロハスは日本で定着しますか

食の安全に気をつけ、水や空気を汚さない暮らしが求められる今、LOHAS(ロハス)という健康的で地球環境に優しい生活スタイルを好む人たちが増えています。それに伴い、ロハスを意識したビジネスも盛り上がりつつあります。ロハスは日本に定着するのでしょうか

「その前にまず、LOHASですが、『H』はヘルス(Health)のH。健康です。ただ、この健康とは人の体や心だけでなく、地域社会の健康、地球の健康も含んでいます。人と地域と地球の健康が密接に関係していると考えるのがロハスの特徴といえます。そして、『S』はサステナビリティ(Sustainability)つまり持続可能性のSです。子供や孫の世代までこの地球環境を引き継いでいこうというわけです」

*LBA共同代表 大和田 順子氏

1. デスクの興味津々

「ロハスが目指すのはまさにこうした、個人だけでなく、地域や地球の健康まで配慮したライフスタイルなのです。ただ、難しく考える必要はありません。毎日の暮らしのなかで、できることから始める、楽しむという生活起点だと思います。もちろんロハスは日本の伝統的な文化・暮らしに似ているので、生活習慣や環境・健康・社会的課題に対する関心レベルは

「ロハスが目指すのはまさにこうした、個人だけでなく、地域や地球の健康まで配慮したライフスタイルなのです。ただ、難しく考える必要はありません。毎日の暮らしのなかで、できることから始める、楽しむという生活起点だと思います。もちろんロハスは日本の伝統的な文化・暮らしに似ているので、生活習慣や環境・健康・社会的課題に対する関心レベルは



「おおた・じゅんこ」東急総合研究所、ザ・ボディショップ、イスクエアなどを経て2006年4月に独立。07年7月LBA(ロハス・ビジネス・アライアンス)設立、共同代表に就任。講演や執筆、コンサルティングを通じてLOHASの普及活動に努める。消費生活アドバイザー・環境カウンセラー。近著『ロハスビジネス』(朝日新書)

「関心ある堅実層」を動かせる商品必要

「ロハスが目指すのはまさにこうした、個人だけでなく、地域や地球の健康まで配慮したライフスタイルなのです。ただ、難しく考える必要はありません。毎日の暮らしのなかで、できることから始める、楽しむという生活起点だと思います。もちろんロハスは日本の伝統的な文化・暮らしに似ているので、生活習慣や環境・健康・社会的課題に対する関心レベルは

「ロハスが目指すのはまさにこうした、個人だけでなく、地域や地球の健康まで配慮したライフスタイルなのです。ただ、難しく考える必要はありません。毎日の暮らしのなかで、できることから始める、楽しむという生活起点だと思います。もちろんロハスは日本の伝統的な文化・暮らしに似ているので、生活習慣や環境・健康・社会的課題に対する関心レベルは

LBA (LOHAS Business Alliance) ロハス・ビジネス・アライアンス

LOHAS (Lifestyles Of Health And Sustainability)健康や環境に配慮し、持続可能な社会を志向するライフスタイル)の価値観に基づくビジネスを活性化させるための活動を展開。事業創造と発掘に寄与し、人々の健康と持続可能な社会の実現に貢献するのが狙い。このため、ロハスビジネスに役立つ最新情報や交流の場を提供するとともに、新しい発想で新規ビジネスに取り組む起業家とベンチャーキャピタル・投資家、ロハス層のマッチングの機会を提供している。大和田順子氏と井手敏和・ジーコンシャス社長が共同代表を務める。住所は東京都千代田区神田錦町3の21、ちよだプラットフォームスクウェア1133。☎050・5539・3460、http://www.lohas-ba.org/

「ロハスビジネスを成功させるには、健康で環境に配慮したロハス層のライフスタイルに配慮した商品・サービスの提供が不可欠です。その上でデザイン性が重要になります。2番目の生活習慣層をロハス層に移すポイントはデザインからかもしれません。きれいで長く愛用したいと思わせるデザインなら、いわば常識的に使われている塩化ビニルクロスをリフォーム工事から追放したのです。健康や環境に配慮し、壁には珪藻土、床には無垢材というように、これまでに無垢材というように、これまでの化学建材から自然素材に変えていきました。ロハスの知名度も高まっています」

「長野市から長野電鉄約30分の小布施町があります。ここに毎年、1200万人の観光客がやってきます。江戸時代の浮世絵師、葛飾北斎が晩年に訪れたということから北斎の作品を収集した北斎館の設立から観光振興が始まりました。開館にあわせ町並みを修復し景観を整えました。各界の第一人者に講演してもらって『小布施シヨウ』という文化行事を毎月1回開いています。若い人たちに知的刺激を与えるのが趣旨で、学生は無料。地元大学生はもちろん、東京などからも若い人が聴きにきます。このように都会人を呼び込むソフトを次々と作り出している成果といえます」

後記

「ロハスビジネスを展開している企業も出てきましたか」 「ロハスで地域を元気にしようという取り組みが地方で増えてきました。日本の農山村が疲弊するなか、人、地域、地球を健康にするロハスのコンセプトが地方の活性化にぴったりだからです。きれいな自然と文化・歴史をいかす観光をこころがけない農産物で

斜に構えず「選んで買う」

「経営者自らの、ロハスの価値観をもっています。きつかけはいろいろですが、自分や家族、地域、地球の健康のために事業を通じて貢献しようという気持ちの持ち主ばかりです。たとえば住リフォーム会社のオクタ(さいたま市)は最初、売上げ増だけを目標にしてきましたが、地球環境の大切

日本にロハスを紹介した大和田順子氏はマイバッグとマイはしを持ち歩いている。取材時に持ってきたバッグは一般のクロムなめしではなく、タンニンなめしでできている。植物の樹皮の根に含まれる渋成分から抽出されたタンニンでなめした皮で自然に優しい。着ていた洋服は、ロハスビジネスを手がける長野県在住のファッションデザイナー、岡正子さんのブランド「ECCOMACCO(エコマッコ)」。トウモロコシのデンプンから主になきたポリ乳酸を使った繊維で作られており、着られなくなっても土に埋めれば生分解して自然に戻る。焼却処分する必要がないので、地球環境に負荷をかけない洋服なのだろう。